

## 第 251 回一関市教育委員会定例会 会議録

### 1 開催日時

開会 令和5年5月24日(水)午後1時30分

閉会 令和5年5月24日(水)午後2時44分

### 2 会議の場所

一関市役所花泉支所 202 会議室

### 3 出席者

委員 伊藤 一志 (教育長職務代理者)

委員 佐藤 一伯

委員 桂島 加奈子

委員 大浪 友子

### 4 会議に出席した関係者及び職員

教育部長	及川 和也
一関図書館長	藤倉 忠光
教育部次長兼学校教育課長	八木 浩司
教育総務課長	遠藤 実
文化財課長兼骨寺荘園室長	氏家 克典
一関市博物館次長	佐々木 修路
いきがづくり課長	伊藤 信子
教育総務課庶務係長	宮野 真知子 (記録)

### 5 報告

- (1) 重大事態の経過報告について
- (2) 行事報告及び行事予定について

### 6 その他

- (1) 移動図書館市民意見交換会開催について
- (2) 令和5年度社会教育行政の方針について (ことばの力を育てる教育)
- (3) その他

## 7 会議の議事

○教育長職務代理者 ただいまから第251回一関市教育委員会定例会を始めます。

本日は教育長が欠席のため、当職が職務代理として進行を務めさせていただきます。

### 報告(1) 重大事態の経過報告について

○教育長職務代理者 報告(1)重大事態の経過報告についてですが、報告(1)は学校における事件についてですので、非公開にすることをお諮りします。

これについて賛同の方、挙手をお願いします。

全会一致で承認されました。ありがとうございます。

それでは報告(1)について非公開で行います。

(非公開)

○教育長職務代理者 この非公開を解きます。

### 報告(2) 行事報告及び行事予定について

○教育長職務代理者 報告(2)、行事報告及び行事予定について、教育総務課長お願いします。

○教育総務課長 (説明)

○教育長職務代理 皆さんにお諮りします。6月の定例会ですが、6月22日木曜日定例会ということよろしいでしょうか。

よろしいということをお願いします。

行事予定について、その他質問はありますか。

それでは報告についてはこれで終わります。

### その他(1) 移動図書館市民意見交換会開催について

○教育長職務代理者 その他に入ります。

移動図書館市民意見交換会開催について、説明をお願いします。

一関図書館長。

○一関図書館長 (説明)

○教育長職務代理者 ただいまの説明に対して、何かお聞きしてみたいことはございますか。

桂島委員。

○桂島委員 移動図書館の方をやっていらっしゃると思いますけれども、利用率の変化だったりというのはいかななものかと思ひまして、教えていただければと思います。

○教育長職務代理者 一関図書館長。

○一関図書館長 詳しい資料を今持ち合わせていなくて申し訳ないのですが、最初の移動図書館サービスで車両を買ったときは、すごく伸びて、それで本館に来るといふか、図書館に来る人も同時に伸びるそうです。ところがやっぱり車両が老朽化してしまうと、そこからこうだんだん低下してくるといったことで、多分サービスを始めたときには利用者は伸びると思います。

○教育長職務 よろしいですか。他にございませんか。

大浪委員。

○大浪委員 私の聞き漏らしだったら申し訳ないのですが、現在幼稚園、保育園に 10 か所とあるのですが、新しい表になるとその部分が一関の場合消えているのですが、幼稚園、保育園というのは回らない予定になっているのでしょうか。

あともう一点ですが、資料 3 ページの下の部分に一関電子図書館という文字があるのですが、私は図書館のホームページを使いまして何をするかと言うと、図書館に私の希望する本が置いてあるかどうかということ、検索して置いてあるものがあれば立ち寄るということをしているんですが、面倒くさいんですね。なので、この電子図書館というものが最近は様々な媒体で見られることができるので、これを進めていく予定があるのかという 2 点をお伺いしたいと思います。

○教育長職務代理者 今の 2 点について、一関図書館長。

○一関図書館長 実に鋭い質問で、私の方で説明が漏れていたということでございます。内容は、1 点目につきましては保育園のところに行かないのかといった形で、実際移動図書館車というところで今まで行っておったんですが、残念ながらその貸出が園児ではなくて職員の方になっていましたので、園児に貸出をするというのが対象者の 2 番目にありますので、そこはどういった方式をするかということですね、市内の保育園の方に保育園の絵本セットみたいなのをボックスで貸し出すような格好にして、車では残念ながらちょっと行くことができないんですが、そういった形でサービスをさせていただくといった形で対象者 2 の児童への絵本の供給をしていきたいというふうに考えています。

もう 1 つは、これはすっかり 3 ページ目を私が説明を省略してしまったのですが、下の方にある郵送貸出と電子図書館というのは、やっぱりこの対象者 1、2、あとその他の方にも重要な図書館のサービスでございます。一関電子図書館は今後、予算をできれば増やしていくような傾向にしたいんですけど、叶えられるかどうかわかりません。図書館に来られない人のサービスとしては、自宅でのサービスを提供するというところで進めていきたいと思っております。ただ、本の冊数が今のところ 3 千冊ぐらいなので、それをどんどん伸ばしていくために、やっぱり予算が必要でございますので、その辺はちょっと市役

所の方と共有させていただければと思います。

郵送貸出サービスというのが、障がいなどで図書館に来館できない方が、こちらから最初は宅配便料を図書館の方で負担してお送りします。ただ返送料は障がいを持った方が本を読みになった後、自己負担でもって送り返していただくというようなサービスなので、返送料が課題となっておりますが、比較的障がいを持った方でも利用されているということで。まだ少ないんです、やっぱり年間にしますと。本当に100件未満なので、まだまだなところかなと思っています。

○教育長職務代理者 よろしいでしょうか。

大浪委員。

○大浪委員 今の説明を聞いて、やはり障がいがある方でも電子図書館が普及してくると、その煩わしさも消えてくると思うので、頑張って予算をよろしくお願いします。

○教育長職務代理者 他にございませんか。

桂島委員。

○桂島委員 一関電子図書館の方を私も登録させていただいて、利用させていただいたりしているんですけども、こちらの方、先ほど3千冊とおっしゃいましたか、全体的なパーセンテージでいくと、今何パーセントくらいが電子図書館で、確かに使ってみて、実際に図書館に行く方が本の種類はあるなと思いながら使っていたんですけども、実際のところパーセンテージってどのくらいなのかなというのと、やっぱり予算を頑張っていたいてというところになる。どんどん今タブレットだったり、ネット社会というのでもっと普及しているので、電子図書館の方が充実になれば郵送料を負担してお互い図書館の方も送るっていうことがなくなってくるでしょうし、返送するのに負担というのにもかかってこなくなるようになってくるのかなと思います。あとは自分も使ってみて、やっぱり本の手触りだったり、本の匂いだったりというのが好きで、活字で読むのが好きなんですけれども、電子だとどうしてもスクロールになってくるので、なかなか目に対する問題だったりとかそういうのはあるんですけども、ちょっと話がずれましたけれどもパーセンテージを教えてください。

○教育長職務代理者 一関図書館長。

○一関図書館長 確かに重要な話でございます、本の数は93万5,446冊ありまして、そのうちの3千冊というところでございますので、本当に発展途上でございます。

○桂島委員 はい、わかりました。

すごくいい取り組みだなと思って、私も登録させていただいているので、今後どうぞ普及の方よろしくお願いします。

○教育長職務代理者 よろしいでしょうか。

私も感じたんですけれども、本市の教育委員会の施策の中に、ことばを育てる教育というように謳ってますよね。それでまず当初から市の図書館の充実、そして各学校に設置してある図書館の充実ということを謳って、これも県内のほかの地域から比べると一関市はかなり高い評価をされているんですよね。さらに、このような取り組みをされると、私は本当に素晴らしいなと思います。一生懸命頑張っってこういうことをやられるというのはすごいなと思ひまして、本当に心から敬意を表したいと思ひていますが、一つだけですねたわいのないことについて気になることがあります。今、お二人からも出ましたけれども、数年前に図書館のサービス車の老朽化が問題となつて、メンテナンスするのにもかなりのお金がかかると、なかなか予算が取れないということが話題になっている、ここでお話しした経緯がありますけれども、皆さん覚えていらつしやいますか。そのあたりがどのようになっているのかと、せつかくいい取り組みも、例えば車のメンテナンスとか、あるいはそういうところに使えるお金がなかなか予算として取れないようであれば、やっぱりこれはすごくいいことが頓挫してしまうような感じがするんですね。その辺あたりいかがでしょうか。

一関図書館長。

○一関図書館長 ご心配をおかけしておりますが、一関地域に置かれていたわかくさ号が、おかげさまで令和2年に更新をさせていただきましたので、それはよろしいかと思ひます。あと東山と大東にある車両ですが、一番は大東の車両が更新時期を迎えておりまして、やはりご心配おかけしておりますとおり、3トン以上の本を積んで回りますので、やはり車両にかかる負担というのが大きく、修繕の経費も予算を計上させていただいているところなんです。できればこちらの方の考えでは大東の車両を更新させていただいて、全域サービスに結びつきたいなというふうに考えております。そのための協議もいろいろやっておりますが、まだ結論として購入していいという予算はついておらないところがございます。東山の方も計画的に更新をしていくような心づもりでおりますので、もう少しお待ちいただければと思ひます。

○教育長職務代理者 館長だけではなかなか大変でしょうから、ぜひ教育委員会全体として、何らかの形でご支援して、そういうことができるようにしていただけたらありがたいと思ひております。

それではその他ないでしょうか。

なければ、次に進んでよろしいでしょうか。

## その他(2) 令和5年度学校教育行政の重点について（ことばの力を育てる教育）

○教育長職務代理者 (2)令和5年度学校教育行政の重点について、ことばの力を育てる教

育について、学校教育課長。

○学校教育課長（説明）

○教育長職務代理者 はいありがとうございます。では今の説明について何かお聞きしてみたいことはございますでしょうか。

桂島委員。

○桂島委員 資料3番の右上の方にあるビブリオバトルという出前授業があるんですが、これは私が自分の時代にはなかったんですけど、自分の子供の時にそれぞれ紹介したい本を発表し合って、どちらの本を読みたいかというのをクラスの子供たちに決めてもらうという。うちの子供たちも、明日ビブリオバトルがあるから、お母さんどの本がいいなという感じで、前日にバタバタし始めるというのがうちの子供のパターンだったんですが。こういう取り組みが自分の時にはなくて、子供の目線で子供たちに紹介したい本、どうしても大人が紹介するのって大人目線でこうなってほしいとか、子供にこうあってほしいという期待のもとに選んでいる本があるんですけど、この場合は子供たちが実際に自分で選ぶというのがあるので面白い取り組みだなと。今日負けちゃったとかということはあったんですけど、みんなに紹介したいものを実際に考えてやる時間というのは、本当に貴重だなと思うので、この取り組みがすごくいいなと思うんですが、出前授業ということはどうなかが学校かどこかに行って授業するということですよ。

○教育長職務代理者 学校教育課長。

○学校教育課長 21人の読書普及員を全校に配置していますので、そういった方が環境設定のところで力を貸してくださっています。

○教育長職務代理者 よろしいでしょうか。

佐藤委員。

○佐藤委員 小学校は児童全員が対象になっていると思いますけれども、幼児のことばの時間は市のその年齢のお子さん方、私立の園に通っている人も含めて幼児全体の中でどれくらいの方に恩恵がいつているのかを参考までに教えていただきたいなど。

○教育長職務代理者 学校教育課長。

○学校教育課長 残念ながら、市立幼稚園しか縛れないということになっています。本年は4園のみということで、特にも私立の幼稚園には情報提供は差し上げられても、やるかやらないかは園の判断というのが現状でございます。

○教育長職務代理者 よろしいですか。

このことについては、本当に一生懸命やってくださっているなど。

例えば今、アナログではなくてデジタル教育が主流なんですね、学校というのは。その中でやっぱりこういうことをきちんとやってくださるといのは、子供たちにとってすごく

大切だと思うんですよ。やっぱり頭からあるいは手から言葉、字が離れてしまうというのは絶対によくないと私は思うんですね。モニターから視覚を通して頭の中に入ってくる言葉とか字は、何というかいつまでも頭の中に残るといような感じはしませんので、ぜひ先ほどの図書館の充実もそうでしたけれども、このことばの力もぜひ、充実させていただきたいなと思います。

ありがとうございました。

### その他(3) その他

○教育長職務代理者 それでは、その他3番に入りますけれども、3番のその他、何かございますでしょうか。

大浪委員。

○大浪委員 今年多くの学校で5類に移行してから、殆どの学校で通常どおりに近い形で運動会が開催されたと思うんですけれども、私の聞く範囲では、いきなり前のように戻すというのも先生たちのご負担もありますし、長い間にコロナというものと向き合いながらやってこられているので、いきなり通常の前のおりの時間に戻すのかという抵抗というのもあったかと思うんですけれども、学校ごとにかなりの違いはあったにせよ、殆どのところで午前中の終了、家族で囲んでお昼を食べることがないというような運動会の開催のされ方が多かったように聞いております。

やはり私の子供の頃、私の息子の時を考えましても子供たちって何が楽しかったのかといえば、みんなでご飯を食べたのが楽しかったり、今は開催時間が短くなったことで開催がされていないような最強リレーだったりとか、そういうところの盛り上がりというものがちょっと失われているのかなということ、今年様々な保護者の方からお話を聞く中で感じられたところでもあります。

同じようなことが文化祭でもあるんですけれども、ステージ発表のみで文化祭と言ってしまう学校。親として見ればステージ発表を見に行っているのではなく、日頃子供たちがどのような学習をし、どのような美術、工作を作ったり、そういう姿を普段行けない学校に行って、文化祭の時に見たいというのが家族の思いだったりするところもあると思います。私の息子の時、その時はコロナではなかったのですが、教室の立ち入りができないという時期もありました。ですので、ご苦労もあるのも十分承知ではありますが、子供にとって家族にとってということ、少し考えていただいて、今年の文化祭、来年の運動会が催されるような助言とか指針というかがあれば、より良いものになっていくのかなということを感じたので発言したいと思います。

○教育長職務代理者 学校教育課長。

○**学校教育課長** 今のご意見は、大変ありがたいご意見でございます。私、昨年度他市の小学校の校長をやっていたんですけれども、コロナが収まってきても、そこにいた地域の方々の声は、また違った形の意見で、お昼の準備をしなくていいかなど。午前中で運動量を確保してもらえたらとてもうれしいなという意見で、それで学年の個人競技と集団競技とあとは全体の応援合戦みたいなものというふうに話し合っ

て。来年度から、一関市では学校運営支援協議会というのが 35 校全校で立ち上がります。地域の方々から学校運営に対してご意見をいただくような、そんな組織なんですけれども、先行していて、私がいた学校もその組織が立ち上がっておりまして、その中でも図っていて、それでいきましょうという話になりました。一関市においても、そういう部分の意見吸い上げが来年度以降全校で行われることとなりますので、より良い行事のあり方、お家の方の様々な意見ニーズにかなったあり方というのが学校ごとに検討される方向でのものと思っております。校長先生方には、そのあたりの情報を提供させていただきたいと思

います。

○**教育長職務代理者** そのほか、その他についてありませんでしょうか。

それでは、以上で第 251 回一関市教育委員会定例会を終了します。

ありがとうございました。